

平成29年度事業報告

平成29年度の我が国の経済は、アベノミクスの推進により、雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかに回復している。海外経済が回復する下で、輸出や生産の持ち直しが続くとともに、個人消費や民間設備投資が持ち直すなど民需が改善し経済の好循環が実現しつつある。一方でバブル期並みの人手不足が、景気の押し下げ要因となりかねず、人材の確保や省力化に向けた取り組みが迫られている。

また、物価の動向は、原油価格の上昇の影響等により、消費者物価は上昇している。この結果、平成29年度の実質国内総生産（実質GDP）成長率は1.9%程度、名目国内総生産（名目GDP）成長率は2.0%程度と見込まれ、消費者物価は0.7%程度の上昇と見込まれる。

こうした状況の中、当振興会は平成29年度も、地域企業等のニーズに対し、適正かつ適確な技術支援を持続的に行い、技術・技能の高度化に貢献することを使命として、教育研修、材料試験、機械加工の公益3事業の効率的かつ効果的な運営に努めた。

本年度の事業収入は、教育研修事業では、事業収益の柱であるクレーン関係講習の受講生がやや減少に転じたものの、非破壊検査講習が増加したため増収を維持でき、機械加工及び材料試験事業も自動車や半導体等の製造業及び公共工事等がけん引し、ほぼ一年を通じて好調を保ち、3事業とも対前年度比で増収となり、事業収益合計は前年度を4年連続で上回る好決算となった。

平成29年度の事業ごとの実施状況は、次のとおりである。

1 教育研修事業

クレーン関係及び非破壊検査関係の資格等に関する講習会並びに北九州市委託の技術者研修を実施した。

事業収益は、平成23年度から平成25年度の3年度にわたり前年度収入比で大幅な減収が続いていたが、平成26年度からは増収に転じ、本年度まで4年間連続の対前年度で増収となった。

また、他機関への教室の提供や、(一社)日本非破壊検査協会九州支部の事務局として、技術サロンや講演会開催等を支援した。

なお、前年度まで好調であったクレーン関係講習の収益は、やや下降気味となっており、企業の人材不足が続く中、クレーン関係の人材育成には充足感がうかがえる。

一方、平成28年秋から始まった非破壊検査資格の再認証制度の変更に伴う実技講習会の開催回数が増えており、教育研修事業の収入は過去最高額となった。

平成29年度の実績は、前年度比で受講者数が0.6ポイント増、事業収入が3.5ポイント増、当初予算比で21.3ポイント増となった。

年度別推移表	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	受講者数	金額(千円)	受講者数	金額(千円)	受講者数	金額(千円)
クレーン関係	3,233	107,868	3,549	116,691	3,341	112,896
非破壊関係他	1,097	30,991	1,267	40,467	1,502	49,699
合計	4,330	138,859	4,816	157,158	4,843	162,595

2 材料試験事業

製造業や建設業を対象に金属材料・有機材料の引張試験やコンクリートの圧縮試験等の強度試験を実施した。また、平成29年度は、試験事業の信頼性の向上と事業運営の安定を図るため、ISO9001の認証取得に取り組み30年2月に取得した。

事業収益は、平成20年度に発生したリーマンショック後は3千5百万円を割り込むまで低迷していたが、平成23年度に4千3百万円まで持ち直し、その後徐々に回復し、平成26年度に5千万円台に到達していた。平成27、28年度もほぼ同水準で推移していたが、平成29年度は鉄筋・鋼材等の引張試験が前年度収入比で13.6ポイントの減収となったが、下水道工事関連のプラスチックの試験が25.7ポイント、ゴミ袋等のフィルム試験で21.1%増収となった。

平成29年度の実績は、前年度比で試験本数は3.3ポイント減となったが、事業収入は4.8ポイント増の過去最高額となった。当初予算比では14.1ポイント増となった。

年度別 推移表	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	本数	金額(千円)	本数	金額(千円)	本数	金額(千円)
鉄筋・引張	11,431	14,677	13,294	17,005	11,452	14,691
コンクリート	2,990	10,214	3,387	11,568	3,548	12,243
その他	10,075	24,919	9,065	22,054	9,904	26,123
計	24,496	49,810	25,746	50,627	24,904	53,057

3 機械加工事業

地域の中小製造業等への技術支援として金属製品の機械加工を実施するとともに、これまで培ってきた知識や経験をもとに、技術的な助言・指導を行った。

事業収益は、平成20年度のリーマンショック以前は9千万円を超えていた事業収益が、4千万円まで減収となり、その後持ち直しつつあったが、ベテラン職員の退職等も相次ぎ、平成24年度からは再び減収に転じ、熊本地震の影響を受けた平成28年度上期まで続いた。

平成28年度下期からは自動車及び半導体等電子部品の輸出額の回復等の影響もあり加工依頼が増え、平成29年度はほぼ一年を通じてジグボーラー、平面研削盤等ほとんどの機械でフル稼働が続き、前年実績を870万円上回り6年ぶりの5千万円台に到達した。

平成29年度の実績は、前年度比で加工件数が7.7ポイント増、事業収入では20.9ポイント増加し、当初予算比では20.8ポイント増となった。

年度別 推移表	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
機械加工	1,137	42,767	1,099	41,961	1,184	50,742
技術相談	18		15		17	

参考資料 3 事業合計

事業名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	実績(千円)	実績(千円)	予算(千円)	決算額(千円)
教育研修事業	138,859	157,158	134,000	162,595
材料試験事業	49,810	50,627	46,500	53,057
機械加工事業	42,767	41,961	42,000	50,742
合計	231,436	249,746	222,500	266,394

4 設備拡充

平成29年度の事業計画に揚げていた下記の機器及び設備拡充を行った。

(1) 教育研修事業

- ・非破壊講習用大型シンク 924千円
- ・プロジェクター設備(第2研修室) 551千円
- ・第1研修室非常階段 2,627千円
- ・空調機(クレーン棟) 6,718千円

(2) 材料試験事業

- ・公用車(軽トラック) 1,253千円
- ・300kN万能試験機 24,222千円

5 行政及び各関係機関、団体との協力

福岡県、北九州市及び九州経済産業局等の行政機関、大学、経済団体等が推進する産業技術の開発や交流・連携等の事業には積極的に参画・協力を行った。

- (1) 福岡県ものづくり中小企業推進会議
- (2) 公益財団法人 北九州産業学術推進機構
- (3) 一般社団法人 日本非破壊検査協会 九州支部事務局
- (4) 北九州商工会議所
- (5) 一般社団法人 北九州中小企業団体連合会